

**Abstract:** デフレ脱却へ向けての経済政策が大きな論争となる中、景気動向を動かす目に見えない感情や雰囲気である「センチメント」が学術と実務の双方で注目されている。本研究では、センチメント分析の動向を概観後、著者が行っている研究を紹介する。

具体的には、センチメントを観測可能な独自の指標として定義するべく、本研究では日本経済新聞(日経新聞)より市場センチメントを表す4つのインデックスを構築する。その上で、我が国の市場において、その4つのインデックスが株価予測に寄与するかを分析する。

これまでに著者は、日経新聞に現れるポジティブあるいはネガティブな感情を計量化したセンチメント・インデックスを構築している(石島・数見・前田, 2014)。さらに、そのインデックスが3日後の株価を有意に予測することを示している。しかし、その先行研究は、直近5年間で分析対象としたものであった。そこで、本研究では、その先行研究を2つの方向に拡張した分析を行う；分析対象を29年間とし、4つのバージョンのセンチメント・インデックスを構築する。

その上で、その29年間という長さを持つ、4つの日次センチメント・インデックスを利用して、我が国の株価の予測可能性を分析する。年ごとの分析の結果、得られた知見は2つである。(1)

日経新聞より構築されたセンチメント・インデックスは、日経225を持続的に予測することが可能である。そして、イン・サンプルとアウト・オブ・サンプルの双方において、株価予測性を有する。(2)

予測結果は、内閣府が定義する景気循環と対応して解釈することが可能である。